

沖縄県事業者のリサイクル部品の選択肢を広げるほか、会員の販路拡大にもつなげる考えだ。今後、リサイクル部品を取り扱う同県の事業者に対しアプローチを強め、事業を強化する。

今春に現地の人材を1人採用し、沖縄での事業を本格化させた。同社はこれまで、中原社長自ら赴き視察を行うなど1、2年をかけ、同県での事業化を調査し続けた。本州から海を隔てた島嶼地区ゆえの課題となっていた輸送費について、豊田通商グループ間で連携し、輸送費低減につなげる。今後は取引物量も増やすことで更なる輸送費低減に努め、事業拡大につなげる。

問い合わせ先は☎098-996-3288。

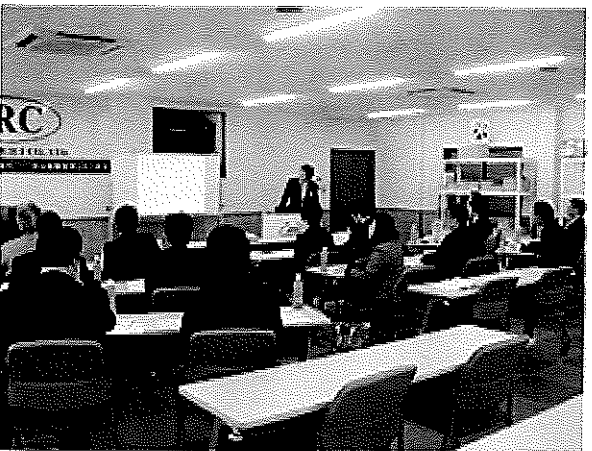
中部近畿の地区研修会開催

リビルト部品の
重要性訴求

エコライン（今原克典代表取締役）は11月16日、中部近畿地区の加盟店を対象とした地区会合を開催した。写真。今回は会場をジャパンリビルト（田中勝弘社長、大阪府堺市）とし、工場見学を実施するなどリビルト部品の製品化の過程や商品力の高さを学んだ。同社はリビルト部品の取

り扱い数実績の拡大に注力しており、工場見学などにより加盟店とリビルターとの関係強化や実績拡大に繋げたい考えだ。

中部近畿地区の加盟店11社16人が参加した。はじめに同社が今後の営業方針やスキャ



ンツールの導入について説明した後、ジャパンリビルトの小代工場と岸和田工場の2工場を見学した。見学会は五つのグループに分かれ、少人数制で実施。参加者は商品の生産から出荷までの様子を見学し、リビルト部品の商品力の高さに関心をよせていた。

見学会後には堺市内で懇親会も開催した。同社はこれまで不定期での開催としていた地区会合を定例化する方針を明らかにしており、加盟店間の情報交換の場としても活用したい考えだ。グループ力を高め、加盟店の実績拡大をねらう。